

令和５年度 森林環境譲与税の使途について（伊賀市）

事業名	事業費 (千円)	事業内容	実施面積等	総括
森林経営管理意向調査業務委託	4,400	森林経営管理法に基づき、経営管理権集積計画対象森林の森林所有者に対し、当該集積計画対象森林についての経営管理の意向に関する調査を行った。	意向調査 408.65ha	●昨年度に引き続き未整備協定林の整備事業、境界明確化事業、伊賀産材ブランド化事業補助金及び緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金を継続して実施した。 ●行政及び林業事業者等で構成する伊賀市未来の山づくり協議会へ今年度も伊賀市負担金の支出を行った。協議会では、木質化等により伊賀市産木材を積極的かつ効果的に活用する取組に対する支援策の検討や、地域団体による魅力創造事業、自伐型林業者の育成を目的として、他自治体への視察研修を実施し林業の担い手育成の検討等を行った。 ●今年度より新たな取組として森林作業道整備事業補助金制度を実施した。当初の想定を超える補助金申請があり、森林所有者及び林業従事者から必要とされている事業であることを認識し作業道整備の支援することができた。 ●その他事業として、地域産材を用いて市が所管する施設の整備を実施、林業関係の図書の購入も行った。
未整備協定林整備調査業務委託	3,190	市、森林所有者及び林業事業体で環境林として協定を締結しているが未整備となっている山林の適正な管理を目的とした間伐施業を行うための調査業務を行った。	標準地調査 90.11ha	
未整備協定林整備業務委託	30,360	市、森林所有者及び林業事業体で環境林として協定を締結しているが未整備となっている山林の適正な管理を目的とした間伐施業を実施した。	間伐施業 88.33ha	
伊賀市未来の山づくり協議会負担金	1,257	森林整備・人材育成・担い手の確保・木材利用の促進や普及啓発の取り組みを進めていくことを目的とした伊賀市未来の山づくり協議会の伊賀市負担金を支出した。	—	
森林境界明確化事業補助金	12,464	境界を明確にすることをにより、計画的かつ適切な森林整備の推進を図ることを目的とし、森林境界明確化等の地域活動を行う者が、市との協定に基づき行う森林境界明確化に要する経費を補助した。	境界明確化 276.98ha	
伊賀産材ブランド化事業補助金	1,474	伊賀産材のブランド化を目指し、市内出荷及び利活用の促進を図るため、市内の森林を伐採して市内の原木市場や製材所等へ原木を出荷する者に対して補助金を交付した。	出荷材積 1855m ³	
緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金	1,534	伊賀市内の森林の適正管理を推進し、森林の持つ多面的機能を持続させるため、間伐作業をされる森林所有者の方等に補助金を交付した。	間伐本数 5,299本	
森林作業道整備事業補助金	6,891	林業施業及び木材の集材・搬出を促進するため、市内の森林作業道の整備を行う者に対して補助金を交付した。	作設：4,796m 改修：4,190m	
歴史的風致維持向上計画進捗管理事業（文化財課）	437	歴史的風致維持向上計画の重点区域である阿保地域の初瀬街道の街道案内看板を地域材を用いて作成し設置した。	木材使用料 0.124m ³	
図書館管理経費（上野図書館）	112	森林や林業に親しみ身近に感じ理解を深めることや林業の人材育成を目的に森林や林業に関しての図書や雑誌を購入し、貸出・閲覧を通じて市民に提供した。	図書：30冊 雑誌：16冊	
合計	62,119			